

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ヒト微生物叢への時系列因果関係推定の応用－疾病制御を目指して
2. 研究代表者： 水本 憲治（京都大学 大学院総合生存学館 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、時系列因果関係推定法を用いて、多種の病原体間の相互作用の解明をめざす。また、腸内細菌叢等における細菌間の相互作用を解明し、その細菌叢のプロファイルとヒトの健康との関係性の検証をめざす。

フェーズ 1 では、感染症間の相互作用の研究は一定の成果が得られている。しかし、腸内細菌叢等の研究については既存データを活用した解析が計画されていたが、解析結果が示されず、フェーズ 1 での研究進捗を具体的に確認することができなかった。

フェーズ 2 では、フェーズ 1 の研究進捗に基づき研究計画が作成されるが、細菌叢に関する研究進捗が不明瞭であるため、その研究計画にも具体性が見られない。

また、当初計画にはなかった共同研究が新たに始められているが、共同研究における創発研究者自身の独創性が十分に説明されず、研究計画が妥当であるとは言い難い。

以上のことから、フェーズ 2 での研究の進展に大きな懸念があると判断された。

以上